

V. 平成19年度新規事業

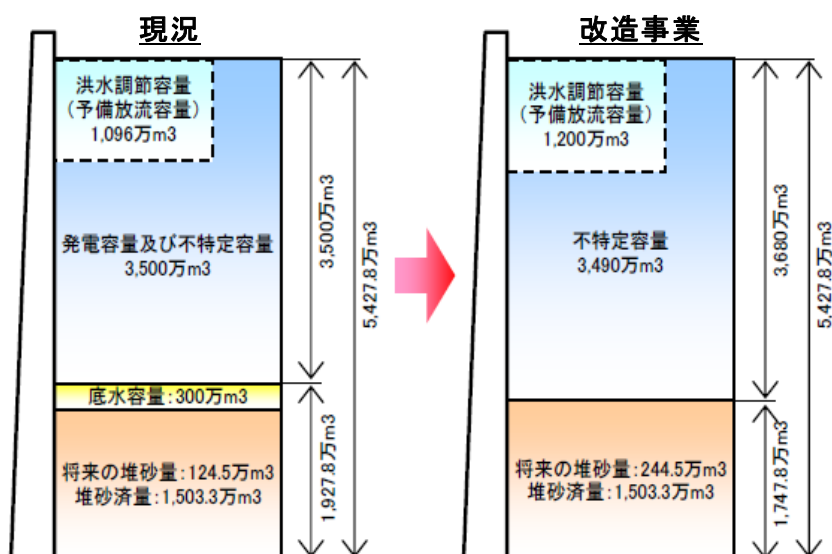
1. 徳島県

ながやすぐち

■長安口ダム改造事業に着手（直轄）

那賀川流域の洪水被害の軽減、流水の正常な機能の維持のため、既設長安口ダム（那賀川水系那賀川）の改造を行うとともに、洪水調節容量及び不特定容量の増量を行い、洪水調節機能等の強化を図ります。

施設改造イメージ



【長安口ダム改造事業の事業内容・効果】

○ダムによる洪水調節

既設長安口ダムの貯水池容量の振り替えによる洪水調節容量の増量及びオリフィスゲートの新設により洪水調節能力を向上し、基準地点古庄における河川整備計画の目標流量 9,000m³/s のうち、500m³/s を調節します。

○ダムによる水量の確保

現況利水安全度は約 1/3～1/4 と低いことから、長安口ダムの貯水池容量の振り替え等により不特定容量の増強を図り、利水安全度を約 1/7 に向上させます。

○ダム下流の水質改善

長安口ダム下流河川の濁水長期化の軽減のため、長安口ダムの発電取水口に選択取水設備を設置します。

○堆砂による有効貯水容量の減少を防止

長安口ダムの有効貯水容量の減少を防止するため、主として長安口ダム貯水池上流において、堆砂除去を行います。

■一般国道319号大野拡幅の整備に着手（補助）

三好市において、幅員狭小、線形不良となっている隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るため、新たに現道拡幅事業に着手します。

整備延長 : L = 0.4 km
 整備期間（予定） : 平成19年度～
 全体事業費 : 約11億円



期待される効果

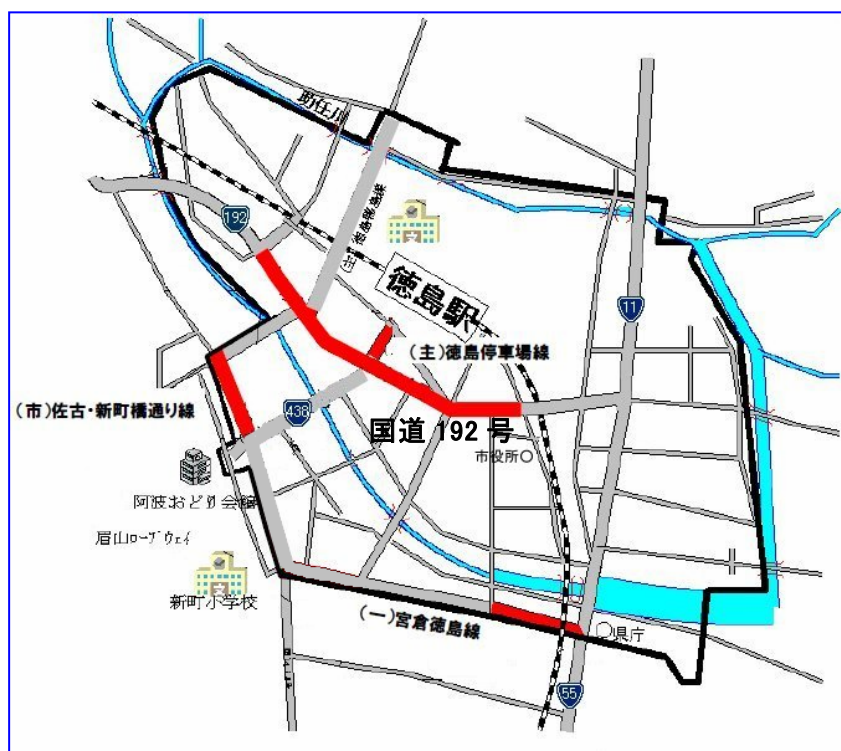
- 幅員狭小、線形不良の隘路区間の解消
 $W = 3.5 \text{ m}$ （最小幅員） → $W = 7.0 \text{ m}$
- 交通事故の減少
 死傷事故3件発生（H7～16年）
- 新宮IC（高知自動車道）へのアクセス向上

■ 徳島駅周辺重点整備地区

バリアフリー歩行空間の整備に着手（直轄・補助）

徳島市交通バリアフリー道路特定事業計画が制定された「徳島駅周辺重点整備地区」の特定経路において、バリアフリー新法基準を満足し、高齢者や障害者が安全に通行できるよう歩道整備、電線類地中化整備に着手します。

特定道路延長 : 約 5.4 km
整備期間（予定） : 平成 19 年度～平成 22 年度
全体事業費 : 約 9 億円



H19 着手予定区間



一般国道 192 号



徳島市道 佐古・新町橋通り線

【期待される効果】

○歩きやすい歩道

- ・路面の平坦性を確保、透水性舗装により水溜まりがでにくく、歩きやすい歩道になります。
- ・急な勾配や大きな段差を改善し、高齢者や車椅子利用者も安全・快適に通行できるようになります。

○無電柱化による景観向上

- ・電柱等による歩道障害がなくなるとともに、景観が向上し、快適に通行できます。
- ・災害時の電柱の倒壊や電線等による、通行障害が防止できます。

（市道：佐古・新町橋通り線）

〔バリアフリー化率 : 24% (H18 年度末) → 100% (H22 年度末) 〕

2. 香川県

■とのしょうこう土庄港海岸において、高潮対策事業に着手（補助）

平成 16 年 8 月 30 日の台風 16 号の来襲により、香川県内各地の海岸沿いの地域においては、大規模な高潮被害が発生しました。再度災害防止の観点から、特に緊急に背後地を防護する必要性の高い土庄港海岸について、高潮対策の整備に着手します。

浸水状況写真（中屋敷地区）



浸水状況写真（吉ヶ浦地区）



事業による防護効果(高潮による浸水解消)

■高松サンポート合同庁舎Ⅱ期工事（B棟）の施設整備に着手（直轄）

利用者の利便性の向上・にぎわいの創出とまちづくりへの寄与を目的として、昨年11月に完成したⅠ期工事（A棟）に引き続き、Ⅱ期工事（B棟）の基本設計に着手します。



高松サンポート合同庁舎（Ⅰ期工事分（A棟））

3. 愛媛県

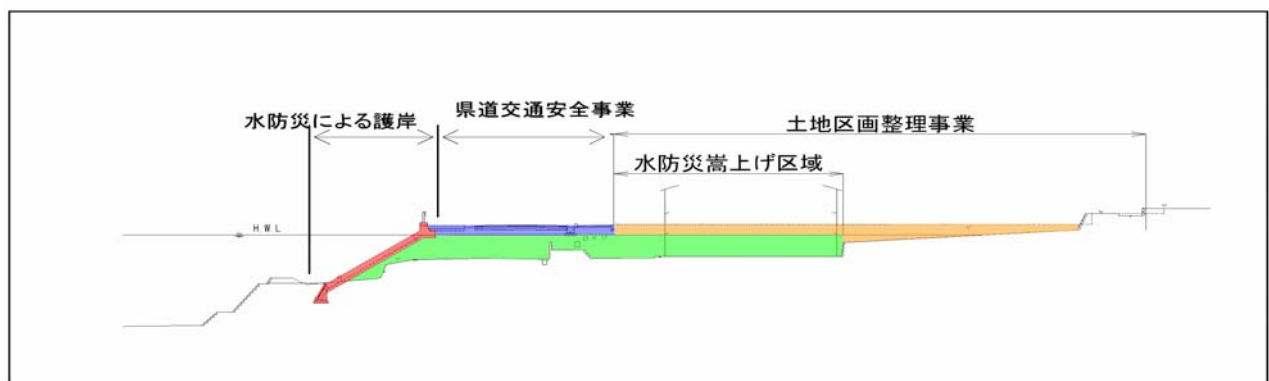
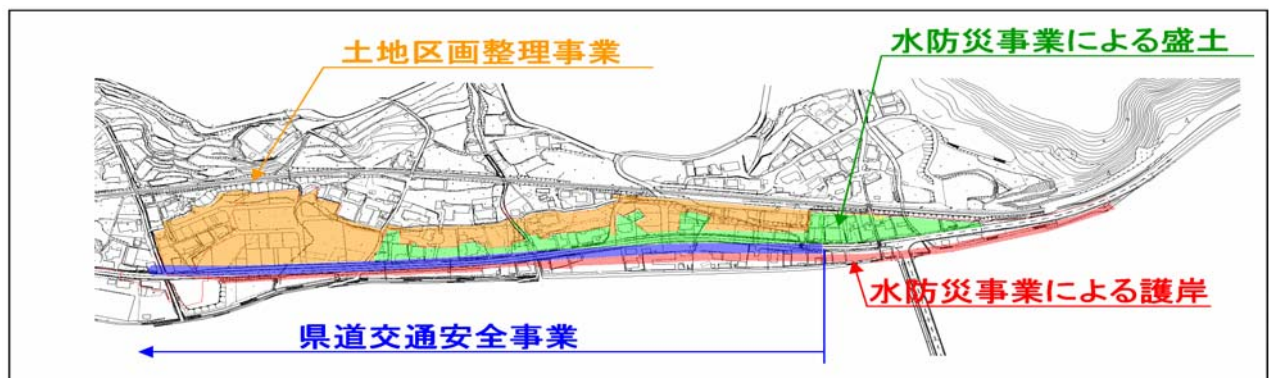
■ 肱川/大和（上老松）土地利用一体型水防災事業に着手（直轄）

近年、肱川における河川改修は、激甚な浸水被害が頻発している中流部の東大洲地区の堤防を早期に嵩上げするため、下流部狭隘地の無堤部対策を先行して重点的に推進しています。

このため上記対策の一環として、平成 18 年度に大和（郷）地区の事業が完成することから、平成 19 年度より右岸 3 k 付近の大和（上老松）地区の無堤部対策に新規着手します。

改修方式は、狭隘な地形に県道、J R が通過し、さらに、川際まで人家が建築されていることから、通常の連続堤方式による改修を実施した場合、約 50 棟の家屋移転が余儀なくされ、地域社会の成立が困難となるため、土地区画整理事業及び県道交通安全事業（主要地方道大洲長浜線）と併せた宅地嵩上げ方式（土地利用一体型水防災事業）による改修を実施します。

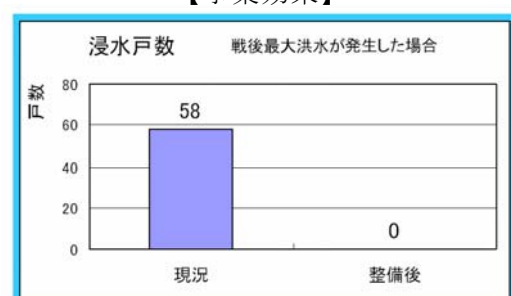
本事業の実施により、戦後最大流量規模の洪水に対して、浸水被害を解消できるとともに、連続堤方式に対して約 7 億円のコスト縮減が可能となります。



【事業効果】

【事業概要】

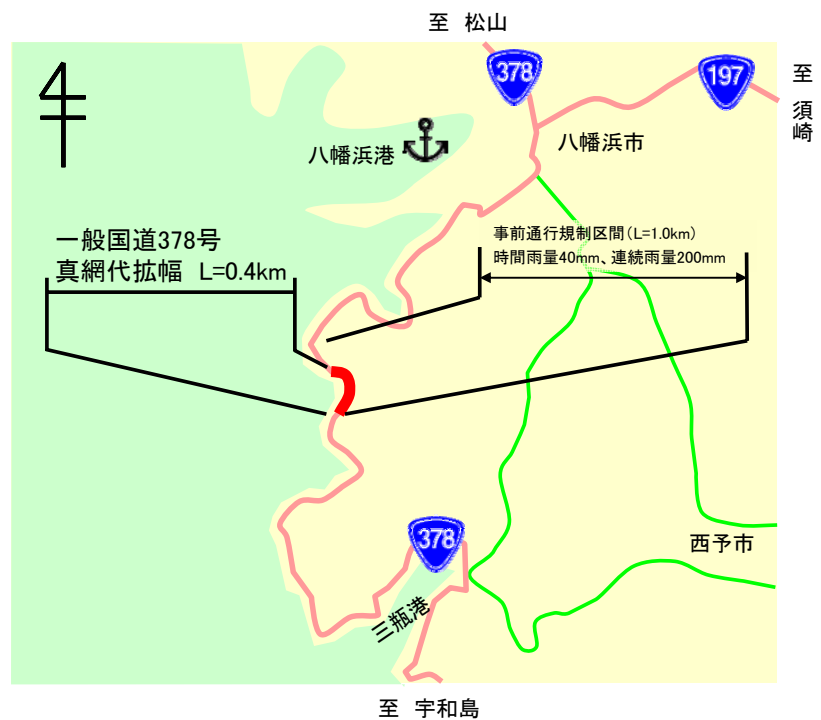
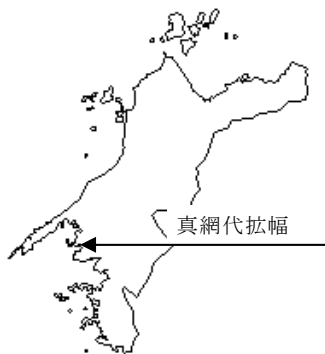
- 事業内容：築堤護岸 L=880m
- 事業期間：平成 19 年度～平成 25 年度
- 事業費：約 44.8 億円
- 平成 19 年度事業費：3.3 億円
- 平成 19 年度実施内容：用地補償等



■一般国道378号真網代拡幅の整備に着手（補助）

八幡浜市において、幅員狭小、線形不良となっている隘路区間および異常気象時における事前通行規制区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るため、新たに現道拡幅事業に着手します。

整備延長 : L = 0.4 km
 整備期間（予定） : 平成19年度～
 全体事業費 : 約5億円



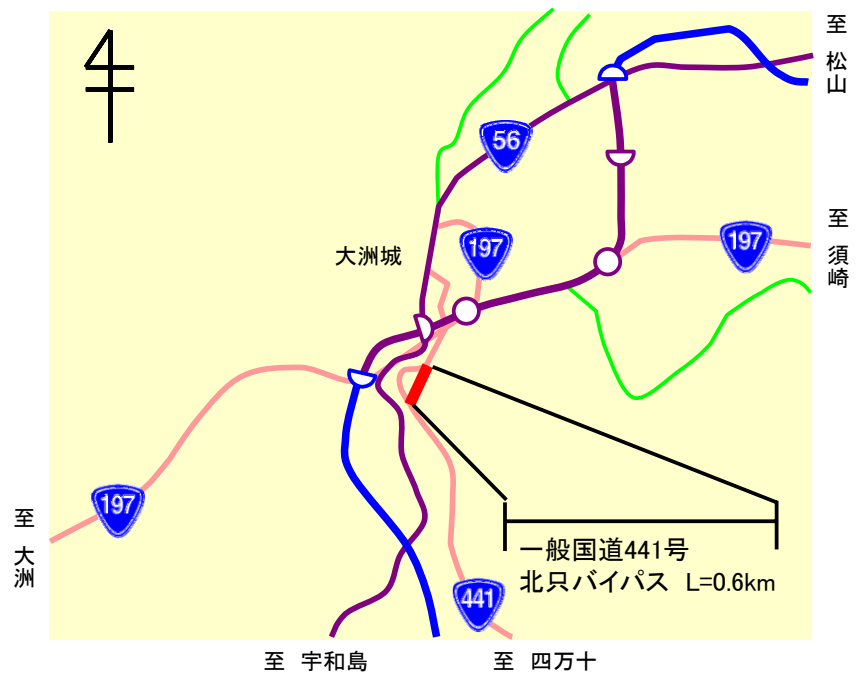
期待される効果

- 幅員狭小、線形不良の隘路区間の解消
 $W = 4.7 \text{ m}$ （最小幅員） → $W = 7.5 \text{ m}$
- 異常気象時における事前通行規制区間の解消
- 柑橘類など農水産物の輸送路の確保

■一般国道441号北只バイパスの整備に着手（補助）

大洲市において、幅員狭小、線形不良となっている隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るため、新たにバイパス整備に着手します。

整備延長	: L = 0.6 km
整備期間（予定）	: 平成19年度～
全体事業費	: 約3億円

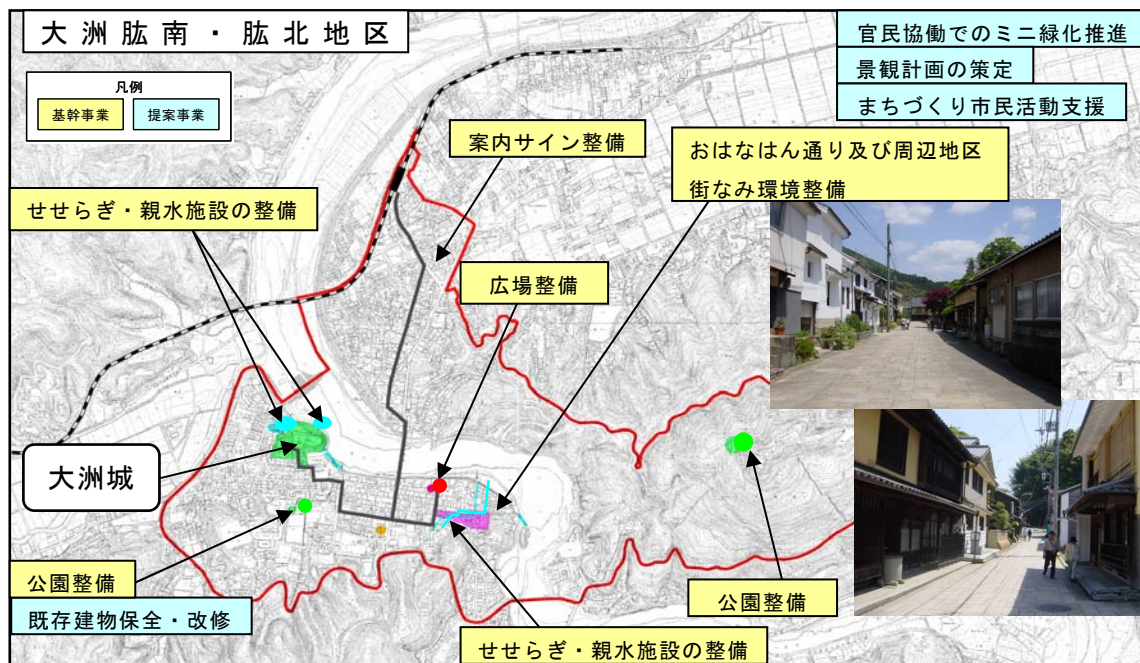


期待される効果

- 幅員狭小、線形不良の隘路区間の解消
W = 4.0 m（最小幅員） → W = 7.5 m
- 歩行者等の安全性の確保
- 大洲市街の公共公益施設・観光地へのアクセス向上
臥龍山荘、遊覧船乗り場（肱川鵜飼）、温泉施設

こうなん こうほく ■大洲 肱南・肱北地区の着手（まちづくり交付金）（補助）

城下町として発展し、歴史を偲ぶ町並みを有す「大洲肱南・肱北地区」において、大洲城を中心とした個性豊かな景観形成の実現、観光振興と交流人口の拡大を図るため、街なみ環境、水路・遊歩道、公園の整備等に着手します。



4. 高知県

■波介川床上浸水対策特別緊急事業に着手（直轄）

仁淀川水系波介川は、上流の土地が低い「低奥型地形」であることから、過去より浸水被害に見舞われ、近年においては、平成 16 年、17 年の 2 年連続して大規模な浸水被害が発生しています。特に平成 17 年台風 14 号では、土佐市市街地が約 533ha 浸水し、家屋浸水 111 戸の被害が発生しています。

波介川では、頻発する浸水被害を軽減させるため、現在の波介川合流地点を仁淀川河口まで導流し、仁淀川水位の影響による排水不良を改善させるとともに、波介川の洪水を安全に流下させるため、「波介川河口導流事業」を直轄河川改修事業として推進してきました。しかし、近年の洪水被害を踏まえ緊急的に再度災害の防止を図る必要が生じたことから、平成 19 年度より「床上浸水対策特別緊急事業」へ移行し重点的に推進します。

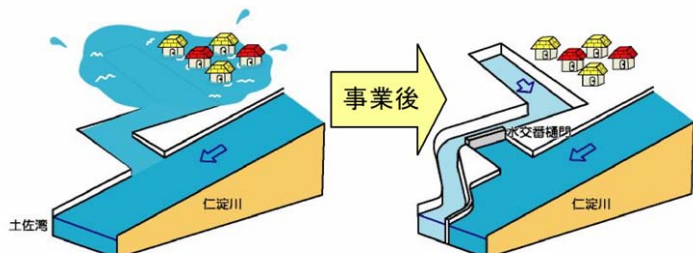
本事業への移行により、確実な事業進捗が可能となり、平成 17 年 9 月洪水と同規模の洪水に対して床上浸水被害を早期に解消することができます。



【事業概要】

- 事業内容：河口導流 2,500m、潮止堰等
- 事業期間：平成 19 年度～平成 23 年度
- 事業費：約 136 億円
- 平成 19 年度事業費：16 億円
- 平成 19 年度実施内容：築堤、護岸等

【合流点付替イメージ】



【平成 17 年台風 14 号浸水状況】



■一般国道493号北川拡幅の整備に着手（補助）

四国8の字ネットワークの早期概成に向けて、安芸郡北川村において、幅員狭小、線形不良となっている隘路区間および落石等の災害危険箇所を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るため、新たに現道拡幅事業に着手します。

整備延長 : L = 0.6 km
整備期間（予定） : 平成19年度～
全体事業費 : 約6億円



期待される効果

- 幅員狭小、線形不良の隘路区間の解消
W = 3.0 m（最小幅員） → W = 7.5 m
- 落石等の災害危険箇所の解消
落石件数198件（H12～16年）
- 観光地等へのアクセス向上
北川温泉等

■一般県道 ^{かげの}影野インター線（影野工区）の整備に着手（補助）

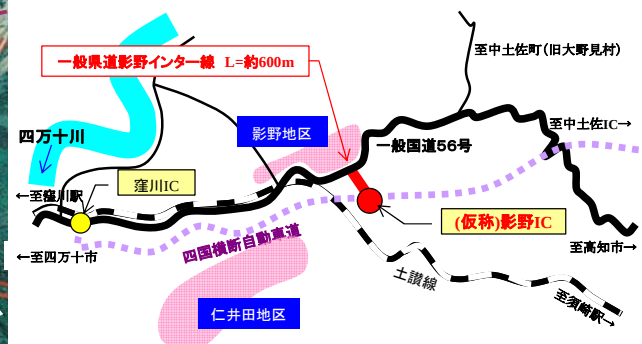
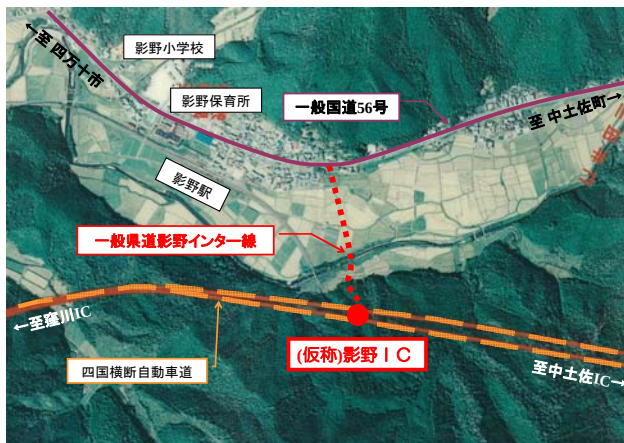
新直轄方式にて整備中の四国横断自動車道（中土佐～窪川間）において、四国の新直轄区間では初となる「地域活性化インターチェンジ（仮称影野IC）」について連結許可を受け、高速道路と国道56号を結ぶ道路の整備に着手します。



事業延長：L＝0.6km

事業期間（予定）：平成19年度～

全体事業費：約14億円



期待される効果

- 高次医療施設へのアクセス向上
- 農林産物の輸送路の確保
- 観光地へのアクセス向上
四万十川、温泉施設